

こんにちは。

今年、琉球大学医学部に入学した伊佐綾香です。

このたび、私と父が親子2代で琉球大学医学部に入学したということから、同窓会から会報紙への文書依頼がありました。入学したてでまだ何もわかりませんが、そんな私の文章でも良いということなので、入学して今、思っていることを書きたいと思います。

私が医師になりたいと思うようになったのはやはり父の影響が大きいと思います。

私が小さいころから父は仕事でとても忙しかったのですが、仕事のことで愚痴をこぼしたり、「疲れた～」などと言うのを一度も聞いたことはありません。

家族のため、生活のため、お金のためなど、なんのために仕事をするのかというのは人それぞれだと思います。しかし、小さいころから毎日忙しくても楽しそうに仕事をする父を見ていたので、私にとって「仕事」とは「やらないといけないもの」というより「生きがい」や「楽しいこと」というような良いイメージでした。そしてそのうち「私も父のように生きがいとして人の助けになるような仕事をしたい」と医師になりたいと思うようになりました。

しかし、医師になるために医学部にいこう！と決意してからも実力が足りず、浪人しましたが、その間も父は「何年かかっても、やる価値はあるよ。それくらい充実したいい仕事だよ。」と言って励ましてくれました。

父だけでなく、母や妹たちも応援してくれて、父と同じ琉球大学医学部に入学することができました。

身近に目標とする医師がいて、いろんなことを相談したり、議論したりすることができることはほんとうに貴重で恵まれたことだと思います。

今はまだ共通科目ばかりですが、これから医学についていろいろ学べると思うと本当にワクワクします。けれど父を含め、先輩たちはみんな「時間があるのは専門に入る前だから今のうちに遊んどいたほうがいいよ～」と言うので、今のうちに自分の興味のあることにもいろいろ挑戦したいです！そして充実した6年間を過ごして、将来は沖縄で医師として病気で苦しんでいる人のために頑張りたいです。



2010年6月13日渡嘉敷島にて